

## 幼稚園、保育所、認定こども園以外の無償化措置の対象範囲等に関する検討会（第6回）

### 議事概要

1 日 時：平成30年4月25日（水） 11:00～12:30、13:00～14:10

2 場 所：三重県津市（ホテルグリーンパーク津）

3 出席者（検討会構成員）：

林 文子	横浜市長
樋口 美雄	独立行政法人労働政策研究・研修機構理事長（座長代理）
増田 寛也	東京大学公共政策大学院客員教授（座長）
無藤 隆	白梅学園大学大学院子ども学研究科特任教授

#### 4 議事概要

##### （1）鈴木三重県知事挨拶

幼児教育無償化の対象範囲に関する検討会ということだが、地方もいろいろである。東京や神奈川県と三重県という違いもあるし、三重県の中でもいろいろだという話を、後ほど担当からさせていただきたい。そのような地方の実情を踏まえた対応が検討されることを期待する。

また、量的確保、負担軽減、質の確保の3つが3点セットである。無償化の範囲の検討においても、それらがバランスよくされることを期待したい。質や量の確保がなされなければ、最終的なしわ寄せが行くのは子供、そして子供の未来になる。是非、その点、御留意いただきたい。

また、直接は関係ないが、三重県は、この4月から、全国で初めて法人県民税の超過課税の12%を活用して子ども基金を作った。今回、消費税の用途を変更して無償化の一步を踏み出したが、子供の課題は様々であり、企業も含め社会全体で子供を応援するため、地方からできることをやっいてこうと考え、財源の確保を行った。

本日お集まりの委員の皆様には、少子化対策や子育てなどについて、社会全体で応援するための財源の確保などにおいても、ご尽力をお願いしたい。

有意義な議論がされることを期待する。三重県としても、政府の議論に積極的に協力していく。

##### （2）幼稚園・認定こども園における預かり保育利用者からのヒアリング

○Aさん

津市内の私立幼稚園に5歳の子供が通っている。早朝保育が7時半から8時半、延長保育が3時から5時半まで実施されており、ほぼ毎日両方を利用している。朝は8時ごろ送

って、帰りはぎりぎりの5時半ぐらいに迎えに行っている。

この施設を利用することになった経緯について話す。5歳の子供が2歳児の時の11月に津市に転入した。第2子を妊娠中で、産休に入った直後であり、当時の津市は育休退園がまだあったため、認可保育所の利用を始めても産休の終わる2月ごろには退園と言われた。そこで、その年度内は、認可保育所を利用せず、夫の勤務している病院の託児所や、里帰り先の実家近くの幼稚園の臨時保育を利用した。

4月からも、育休中のため認可保育園の利用ができず、また、近隣の市立幼稚園が2年保育しか実施していなかったため、3歳児になる上の子供を預かってもらえるところは、私立の幼稚園という選択肢しかなかった。また、2人目の子供が1歳になったらすぐに、1月頃には職場に復帰しようと考えていた。年度途中で認可保育園に空きはでないだろうと考え、できれば完全給食で延長保育を実施している幼稚園を探し、今の幼稚園に入れてもらった。

その幼稚園の預かり保育では、年間契約をしないと利用できない日や時間帯があったため、育休中ではあったが、預かり保育の年間契約をして利用した。年少の時の1月に仕事に復帰したため、年中になる4月から保育園に申し込むこともできたが、1年間幼稚園で過ごし、友達もでき、先生方にもよくしてもらった。悩んだ末、子供の環境を変えるデメリットもあり、あと2年ということで、引き続き延長保育を利用しながら今の幼稚園に通わせることにして現在も利用している。

なお、2人目は現在2歳だが、1歳になった頃の1月に仕事に復帰した時は、認可保育園に入れず、夫の勤務先の病院の託児所に3カ月間預かってもらった。その後、昨年4月から1年間、私立の認可保育園に通ったが、2人の子供をばらばらで送り迎えをしていて大変だった。今年度は、幼稚園の近くに認定こども園ができたため、転園希望をして、別々の園ではあるが近くにあるため、はしごで送り迎えをしている。

保育園の保育体制はとても充実しているが、幼稚園の預かり保育で預かってくれるのが5時半までのため、職場の短時間勤務の制度を利用して30分の部分休業を使い、通常は5時15分までの勤務のところ、4時45分に勤務を終えて迎えに行っている。幼稚園は7時半から預かり保育を提供しているが、職場が近いため、8時過ぎに預けて、5時半までほぼ毎日利用している。長期休暇も同じく、開いている時には使わせてもらっている。預かり保育があれば利用しているが、お盆、年末年始、年度始め・年度終わりや、運動会の代休などの日は園が休園になるため、夫の勤務先の病院の託児所を1日3,000円で利用したり、遠くの実家に預けたり、綱渡りだなと思いながらやっている。

預かり保育の負担額は、通常の保育料とは別に年間契約している。早朝保育、延長保育、長期休暇中の預かり保育を全部まとめて年間12万円、月々1万円支払っている。保育料と預かり保育を合わせると長女だけで年間50万ぐらい、加えて託児所を利用すれば1日当たり3,000円かかっている。今までは必要経費と考えていたが、改めて計算すると、結構な負担をしていると思う。

正規の職員でずっと働いてきたため、働き続けることが自分の中で目的になり、子供をどう預かってもらうかを考えてしまう状況になっている面もあり、子供を優先して考えるという形が一番いいのかと本当に悩む。ただ、そもそも行き場がなかった3歳児を受け入れてくれた今の幼稚園にはすごく感謝しており、綱渡りであるが、働いている母親に働きやすいサービスを準備してくれているのは本当にありがたい。

長期休暇中の給食を実施してもらえれば助かるということや、5時半までの延長保育をあと30分長くしてもらえれば、部分休業を使わずフルタイムで働けるなど、欲を言えばいろいろあるが、今のところは現状で満足している。子供も3年間、同じ環境で同じ友達と成長し、先生たちに見守ってもらえてすごく良かったと思う。

(認可保育所を最初から利用できることが最善で、幼稚園はやむを得ない選択だったか。)

- ・幼稚園教育は保育園と全然違うなと思った。季節ごとの行事がすごく丁寧に計画されており、子供たちの教育という視点がしっかりある。保育園の3~5歳の環境は分からないが、幼稚園でたくさんの経験をしている。夏休みのキャンプや、通年での室内プールの利用、体育の先生による体育指導など、とても充実している。もし保育園と同じような時間帯で預かっていただけのなら、保育園よりも少し負担が多くなったとしても、幼稚園教育は魅力だなと感じている。

(料金について、年間契約の場合、利用頻度に応じて追加的な費用は発生しないのか。)

- ・年間契約の場合、利用してもしなくても一律で月1万円。長期休暇中の8月も同じく1万円で追加料金は発生しない。

(無償化について、率直にどのように思われるか。)

- ・無償化の話は全然詳しく知らず、今回の話を聞き、無償化になるのだったら是非と思った。今は当たり前のように、長女だけで月々4万円払い、下の子供も第2子で半額になるが、月々保育料を約2万円払っているため、子供の保育に関して最低月6万円ぐらいは飛んでいっている。しかし、自分のお給料がゼロになることに比べれば、保育料の負担は少ないので、預かってもらえるのだったらどこでもと思って預けている。確かに最初に子供を私立幼稚園に預ける時に、こんなにかかるのか、すごくハードルは高いなと思った。入園料も7万円ぐらい払い、制服などを全部そろえたら10万円から12万円ぐらい4月当初にかかりすごくびっくりした。今はそれが麻痺してしまっているが、やはり初めて預けられる親御さんは、こんなにかかるのかと考えるだろうと思うため、無償化にならなくても、やはり補助とかがあることで使いやすくなるだろうなとすごく実感している。

(保育園や幼稚園に申し込む際、何園申し込んだか。)

- ・幼稚園は1つだけである。保育園は無理だと思っていたため、2月にぎりぎりで見えているか聞いたら、急だったが、空いていたので良かったと思う。
- ・下の子供は認可園を利用しているが、初めて申請した昨年度は、第3希望まで書き、第3希望のところになった。今年度、転園希望を出した際は、ここに入れるのだったら変わるということで申請し、今のこども園に変更できた。

OBさん

私は今、上が小学校4年生から下が2歳まで4人の子供を育てている。

5歳児になる子供(第3子)を私立幼稚園に預けていたが、今年度から認定こども園に変わった。2号認定に変更することも考えたが、1号認定のままとした。その理由は料金である。上に小学校2年生がいるため、1号認定にすれば利用者負担が半額になる。

第4子(2歳)については、真向かいの保育園に3号認定として0歳の頃から預けていたが、第3子の園が認定こども園に変わったため、次男もそちらに転園させた。この子(第4子)に関しては、誕生日を迎えて3歳になったら、利用者負担額の関係もあり、1号認定の申請を行うことを考えている。

第3子(5歳)は、現在1号認定で、通年の延長保育を利用している。保育の時間は、8時30分から10時まで順次登園となっており、14時30分までが規定の保育時間だが、16時30分までの2時間、預かり保育を利用している。これは、第1子、第2子も、同じ園(当時は認定こども園になる前の私立幼稚園)に通っていたが、その時も同じような形で利用していた。家が遠く、パートであっても、迎えの時間が2時30分ではとても難しいため、延長保育を利用し、夏休み、冬休み、春休みの間も預かっていただけのため、通年利用を申請している。

私は2歳から教育をしてほしいという考えがもともとあり、今の幼稚園は、2歳児からの保育があることが魅力だったため、第1子から3人とも利用している。今年度認定こども園に変わっても転園させる考えはなく、現在も利用している。

(小学2年生がいるため、5歳の子供は半額なのか。)

- ・そうである。幼稚園(1号認定)であれば半額だが、保育所(2号認定)になれば半額ではなくなる。できるだけ同じ教育を受けながら、できれば家の負担を軽くということで1号認定のままにした。

(無償になった場合、長時間の保育所を選ぶか、それとも預かり保育がある幼稚園や認定こども園を選ぶか。)

- ・私の中では、幼稚園教育に割と重点を置いて子供たちを育てている。もし、無償化になったとしても、今の園から移動するつもりはないが、同じ園のまま2号認定で

無償ということになるのであれば、2号認定にしたいと考えている。

(預かり保育を利用する頻度、土日や長期休暇の時などの利用状況について。)

- ・パートであるため、比較的小児に対して時間が取れるため毎日の利用ではない。基本的に、週に2日は17時30分までお願いしているが、残りは16時30分までである。私の家は、頼る祖父母などもない環境で、どうしても2人でやっていかなければならない状態のため、できれば土曜日も預かってほしいと思うが、土曜日は夫か私が休み子供を見ている。どうしてもという場合には、第1子にお留守番をしてもらったりもしている。

(預かり保育の料金について、年間契約の場合、利用頻度に応じて追加的な費用は発生しないのか。)

- ・昨年までは私立幼稚園であり、17時30分までの延長保育や夏休みも含めて月1万円を払っていた。
- ・本年度から認定こども園に変わった際に時間当たりの金額になった。通年契約でも16時30分までの預かり保育であれば月当たりプラス5,000円、17時30分までであれば更にプラス2,000円となった。ただし、私の場合、16時30分までの5,000円を払い、どうしても17時30分までお願いしたい日がある場合は、その日についてプラス200円を支払っている。月に大体6~8回利用するため、1200円か1600円の負担だが、通年契約をした場合の月2,000円払うよりも若干安くなっている。

(無償化について、率直にどのように思われるか。)

- ・無償化は知っていたが、実際、どこまで何が無償化になるのかということは詳しく知らなかった。幼稚園というのは、教育上、お金がかかるのかなと思っている。
- ・パート勤務のため、保育料でパート代がなくなる可能性はもちろんあるが、子供のことなのでという思いでやっている。ただ、最低の生活ができないと教育もやはり伴ってこないと思うため、無償化については、できる限りやれる部分でしていただけたらうれしい。上の3人で私立幼稚園にたくさんのお金を払ったが、4番目の子供に対してそういう対応がされるのであれば、今からでも遅くはないと思っており、助かるというのが正直なところ。

(幼稚園や保育所に申し込む際、何園申し込んだか。)

- ・幼稚園は2歳児からの保育があったため、申請をせずそこから上がった。今回、認定こども園に変わったが、私自身が行う手続はなかった。
- ・一番下の子供(2歳)に関しては、0歳から保育園申請の際に第1希望に入れた。上の子供が行っている幼稚園が認定こども園になるということで、下の子供もそち

らに移りたいと考え申請し、すぐに入れた。

### (3) 認可外保育施設の利用者からのヒアリング

〇〇さん

子供は、5歳の年長と、4歳の年中の2人。津市内の認可外保育施設を利用している。保育施設は、朝の7時から延長を入れて夜の7時までで、私は、月曜日から金曜日まで毎日朝8時から利用している。

経緯としては、県外から津市に引っ越し、認可保育所を申請したが落ちてしまった。2次募集に応募した際に、小規模保育園が新規開園するとの案内を市からいただき、そちらに入った。2歳児までは認可の小規模保育となっているが、3歳児以降は無認可になってしまうため、どうするか迷ったが、家や職場などの場所や子供の状況などを考え、そのまま継続することにした。バス通勤しており、施設の場所がバス停に近く、職場からも徒歩15分のため通いやすい。

利用負担額は、上の子供が約30,000円、下の子供が約2万5,000円の基本料金と、延長保育を利用した際は月最大で1人5,000円となっている。その他に、給食費や雑費などが必要であり、2人で月6万から6万5,000円くらいの支出となっている。認可の時は2人で全部合わせて1万5,000円から2万円くらいだったため、約3倍になっている。

無償化に対する要望は、津市は待機児童がゼロ人となっているが、場所の問題や兄弟一緒に通えるところとなるとなかなか入れる認可保育園が少ない。転園していった方でも兄弟2人で入れる認可保育園という条件で探したところ、家から職場を通り越して通っている方が結構いる。無償化になったら近い無認可のところも選べてよいのではないかと思っている。

(2歳児まで認可で3歳児から無認可とのことだが、同じ建物内か。サービスは同じか。)

- ・ 同じ建物内にある。
- ・ 年少から体操教室があり、年長になると英会話教室などが始まる。ただ、人数が少ないため、バスで移動し、系列のほかの園の子たちと合同で行っている。

(認可保育所ではなく、無認可保育所を選択した理由は。)

- ・ 同じ社会福祉法人の系列で他に認可保育園がいくつかあり、転園できるそうだが、私の家からだと少し遠い。他の園も考えたが、見学に行った際、退園される方がいなければ募集をかけないと言われた。通勤の利便性に加えて、子供の言葉が聞き取りにくいところがあり、園を変えて先生も子供自身も戸惑ったりする可能性などを考慮し、金額的な負担は大きいですが、やはりそのまま同じ園を利用した方がいいと思い、転園せずに通うことに決めた。

(預けている施設の保育士や園の雰囲気について)

- ・小さい子供の担当の方は明るく元気な感じで、大きい子供の担当の先生は時に厳しく、だめなことはだめとしっかり教える。子供たちも先生のことがすごく好き。下の子供は、休みの日も保育園はないのと聞くぐらい保育園が大好きである。

#### (4) 預かり保育実施園からのヒアリング

##### ○私立和順幼稚園 二井園長

預かり保育は、幼稚園が始まる前の8時から9時までの間と、幼稚園の部分が終了した午後3時から5時半まで行っている。1号認定で利用している方が14名。夏休みや冬休みなどにも大体30名ぐらい利用いただいている。この預かり保育の時間を利用して、私たち保育者や保護者が普段できない集団幼児教育部分を補うようにしており、非常に役に立っている。預かり保育を利用している方の中での就業率は52.3%。ほとんどの方が何らかの形で母親が働いている。

利用料について、月極でフルに利用する場合は1か月5,000円であり、緊急の場合や1日だけの場合には、1回につき500円の利用料を受け取っている。また、夏休みは、20日間の日程を組み、預かり保育をする際には2万円受け取っている。朝8時半ないし9時ごろから午後4時半までお預かりし、充実した夏季保育を行うシステムを作っている。

例えば、母親が悪阻になり父親の仕事の関係で何とか土曜日に預かってほしい場合、半年だけ海外勤務から日本に戻ってきて子供を預かってもらう場所が必要な場合、父親が単身赴任してしまい母親の仕事も忙しくなってしまった場合、教師の夫婦で朝早く学校に行く必要がある場合。預かり保育のニーズは、ケースが一つ一つ違うが、その人にとってはどうしても必要なもの。一律に決めるのは難しく、私たちは子供を中心に考えながら、多くの保護者の方から子供にとって何が最善かをいろいろヒアリングしながら、私たちに支援ができることがあれば、それを探し当ててやっている。ただ、いたずらに預かってほしいからという場合は遠慮いただくよう、常にそういう話し合いをしている。

(夏季に預かり保育を行わない時期もあるのか。預かり保育は、16時半までだと早すぎるのではないか。要望はないのか。)

- ・夏休みの最初やお盆、後半は預かり保育を行わないが、それについての意見は割と少ない。夏休みの預かり保育では、普段は子供たち全員を実際の海に連れていったりすることが難しいため、この時を利用し、海岸へ連れて行くという体験をさせたり、動物園、水族館などに行くという夏季保育、長期保育をしている。
- ・夏季保育は4時半で区切っているが、2号、3号の子供たちは、そのまま自動的に5時半まで預かっている。1号認定の方で夏季保育を利用した方の中にも、緊急性を要した場合は当然延長することは可能だが、あまり利用されていない。

(幼稚園型認定こども園を選んだ理由は。)

- ・平成24年の初期段階で幼稚園型認定こども園を選んだ。幼稚園型を選んだ理由は、建物の問題や教職員による0、1歳に対する保育の習得ができておらず不安が大きかった。
- ・また、365日近く預かりをしなければならない場合、教職員の就業的な問題が出てくるため、そこをどうしても私が曲げられなかった。そこで、預かり保育や夏季保育ができる状態であればということで、幼稚園型しかないと考えた。

(預かり保育の体制について)

- ・全て正規職員、常勤者で対応している。パートは一切いない。まず子供を知るところから入っていかないといけない。普段のカリキュラムではお手伝いするパートが入っても問題ないと思うが、特に預かり保育の場合、海に行った時などは、子供の性格などいろいろ知っていないと危険。子供達に十分伸び伸びと自然体で遊んでもらうため、今のところ、そのような預かり保育のシフトを組んで順番に担任等が行っている。

(預かり保育を無償化する場合、年間契約や月額となると、実際の利用率が低いと公費の無駄になる。利用日数に応じた日割りの契約は可能か。)

- ・預かり保育には真剣に取り組んでおりお金もかけている。実際に保護者からいただいているお金で人件費やいろいろな行事をこなすことは不可能に近く、ほとんど足りていない。
- ・一方で、月に20日間利用したいという保護者に対して、負担が大変だろうから園側でカバーしましょうというのが月極の料金になっている。だから、1日いくらという保護者の負担がないような状態。保護者の負担については、苦勞して払っていただいているということを十分に分かっており、できれば無償にしてあげたい。
- ・無償化については、保護者から受け取る利用料を日割り計算し、保護者に負担がなければそれはそれで十分かと思う。利用する損得勘定に保護者がならないような形だけは取っていただきたい。また、常日ごろから本当に必要性のある緊急を要する場合は絶対に安心してほしい、何があっても預かろうと考えている。無料になったから急にどんどん利用しようということとは出てこないと思う。
- ・無認可を利用している保護者の苦勞も分かっているので、そうしたところも含めて、無償化や支援をしていただきたい。

○津市立明合幼稚園 中川園長

幼稚園では、8時半から2時までが正規の教育課程で、2時から4時まで預かり保育を



している。3年保育であり、3歳児は入園してすぐ預かるということではできないため、最初の1か月は午前中に帰る。連休が終わってからようやく給食が始まり、保育時間が2時に長くなる。3歳児については、それ以降にお預かりさせていただく。ただし、入園する前に保育所や託児所にいた3歳児は集団になれており、4月10日の入園式の翌日から預かり保育を実施している。給食を準備できないため、お弁当持参をお願いしているが、現在、2名の3歳児が利用している。

預かり保育を希望する方には、半期に一度、4月と10月に預かり保育申込書を提出してもらう。その時に、利用理由も把握し、就労、病人の介護、産前産後などの方の預かりを行っている。また、小学校の行事や参観日で下の子供を預かってほしい、赤ちゃんの健診日、渋滞で降園時間に間に合わない場合にも預かりをする。また、子育て支援として、子育てに悩んでいるお母さんのためや、親1人子1人で家で過ごしているので安心なところで遊ばせてあげたいということで、預かりをしていることもある。

利用料は、平成30年度から日額200円にした。仮に、この幼稚園に兄弟がいたら第2子以降は、その半額の100円となる（平成29年度までは100円、兄弟は50円）。月の利用料が利用日数によって違うため、前月に預かり表を渡し、利用予定日に丸を打ってもらい、必ず点呼をして、月々で料金を保護者に示し市へ納めていただいている。これは園長の仕事である。当園は預かり保育を行っているが、津市の中でも預かり保育を行っていない公立幼稚園もあり、それによって職員の疲労度が違うという声が職員から出ている。

無償化に対する意見として、本当に預かり保育が必要な方については、無償化してあげたいと思う。預かり保育が無償化になることで、保育所に預けなくても、幼稚園の預かり保育で十分な方の受け皿になれる。働くお母さんがたくさん増えてきており、今、保育所は満杯である。なお、町内の幼稚園も4園から3園に減った。

うちの幼稚園は山の中にあるが、津の市街で勤めている人がだんだん増えており、預かり保育がもう少し長かったらいいという意見が出ている。預かり保育専門の先生がおらず、教職員6人のうち2人が養護と事務であるため、私を含めた教員4人がローテーションを組みながら預かり保育を行っている。夏休みも冬休みも9時から4時までの預かり保育をしている。休み中も、何かあってはいけないため、いつも職員は最低2人態勢で預かっている。夏休み期間中は、研修も多く、学んで質を高めたいという先生たちもいるが、どうしても4人で回していくと、なかなか夏休みも研修の機会も取れない。長期休みの時はそういうところで苦勞する。

どうしても預かってほしいと思う方には、無償化はとても助かるだろうと、先生たちの中でも賛成の意見が強い。しかし、中には、預けるのは安心だからとか、ちょっとパートに行くからという軽い感じで預けるお母さんも出てくるのではないかと。全部が全部、無償化よりは、条件によって何か精査した方がいい。子育ては大変だけれども、その時に私たちは何か力になることがあれば。子育て支援という形を考えると全部が無償化というよりは、ある程度、条件を付けていただいた方がいい。

本来ならば家庭で保育することに対する手助けが私たちであることを考えるなら、やはり家庭教育が一番大事である。子供たちの迎えの母親が来て、預かりの子供が残ると、幼い子はじっと見ていて、やはりお母さんに迎えに来てほしいなという気持ちがある。私たちも、迎えの後30分ぐらいは幼稚園で遊んでいていいよ、お母さんたちもママ友を作ってねと言うが、30分たったら、預かりの子もいるので家に帰っていただく。その間の30分は、預かり保育の子供は外に出ないで室内で預かるという対応をしている。

市街地の幼稚園でも半分以上の母親が働いており、子育ても充実したい、働きたい、社会に出たいという母親の気持ちがだんだん強まってきたのではないか。だから、保育園はパンクしそうなくらいである。一方、うちはまだ随分余裕がある園なので、子供達には伸び伸びと育ててもらい、子育てについて私たちができることは支援していきたいと思っている。

(預かり保育に伴う幼稚園の組織体制、職員への研修について。)

- ・追加の人員がない中で預かり保育を行うことは、時間的にはとても無理がある。職員会議もなかなかできない。
- ・預かりがない園と比べると、自分たちで上手く時間を凝縮して利用しており、かえっていい面もあった。しかし、夏休みなどは、遠くへ出かけていろいろな研修や実技など学びたい一方で、先生のうち2人はどうしても預かり保育に行かなくてはならない。先生たちも負担がすごく大きいと思う。

(預かり保育を行っている時、人が集まりやすいのでは。)

- ・給食があって、預かり保育があるというのはすごく魅力的で、市内から30分かけてくる人もいる。お母さんから、預かり保育がどうして4時までなのか、もう少し長かったらねと言われることもあるが、今から片づけて明日の準備をすると、5時も6時も過ぎてしまうよと言うと納得される。

(経済的な支援があれば、公立の幼稚園でも預かり保育を始めたり、新たに非常勤や保育士を雇って預かり保育に対応することも増えると考えるか。)

- ・今年度、こども園はそのシステムが組みられていると思う。その動向、結果を見て考えられることかと思う。専任の先生がいた方が私たちも安心するし、もっと充実した保育ができるのではないかと思う。

(5) 認可外保育施設からのヒアリング

○保育ルームチューリップ 山口施設長

三重県菟野町と四日市市で認可外保育施設チューリップと、四日市市で小規模保育園山

山口堂保育園を経営している。認可外施設は、全く補助のない状態で経営している。現状、四日市、菰野に関しては、0歳、1歳、2歳児の保育の受け皿が非常に厳しく、年で6人以上の待機児童を受け入れている。

3歳～5歳児の幼児教育を充実させることと無償化を検討していると思うが、認可外施設としては、0歳、1歳、2歳児の受け皿を考慮していただきたいと切に思っている。

チューリップでは、幼稚園を利用している子供の降園後から保護者の仕事が終わる6時までの3時間余り対応している。また、夏休み、冬休み、春休みなどの長期休暇期間中も幼稚園児の対応をしている。

しっかりとした幼児教育を受けさせたいと願う保護者がほとんどだと思われる中、月齢と発達に応じて1人ずつ目標を定め、スプーン、フォーク、お箸の訓練、知育玩具を使っている。幼稚園入園、小学校入学にあたっての学習準備等できる限り取り組んでいる。

現在、心から行政の助けを必要としているのは0歳児の保護者。生活上の理由なども含め、以前より早く仕事に復帰したいと望んでいる。月齢が4か月や5か月からでも仕事をしたい、しなければいけないという保護者の思いにも関わらず、保育園での受け入れは非常に厳しい状況となっている。保育園では、なぜ0歳児の入園が困難なのか。0歳児の保育には、保育士の人数、保育スペースなどの規制が大きな問題となっており、そのため、0歳児の入園の枠を狭めざるを得ないと思う。

また、保護者がまず働きやすい環境をつくってあげなければいけないと思う。

今度、無償化となっても、認可外施設を維持していこうとするなら有償にせざるを得ない。保護者の金銭的負担の差が大きく開いてしまう。保育園に入園できなかった児童は、どうしても認可外施設を利用しなければならない。認可は無償化でゼロ円、認可外施設は有償となり、利用される保護者の金銭的負担は計り知れない。

保育園に入園できなかった時、認可外施設があるから安心して子どもを預けて働くことができるということで最終的な保育の受け皿になっているなど、認可外施設の必要性を理解していただき、認可外施設にも補助を検討していただきたい。

(保育ルームを小規模保育事業に移行するのは無理か。)

- ・四日市市で、小規模保育施設山口堂保育園と認可外施設チューリップを運営している。菰野町でも小規模保育園を立ち上げるのが一番の理想だが、行政に働きかけてはいるものの、菰野町自体が小規模保育に着眼している段階にないため、実現するにはまだ時間がかかる。

(一時預かりの希望が急に増えた場合など、保育体制はどのように調整しているか。)

- ・3人ないし4人の保育士で保育をしているため、利用希望が急に増えた場合は、事前に申し込みがあれば、先生の人数の調整をする。いつもは10人程度を受け入れているが、それを超える希望があった場合は、特に待機児童を優先する。リフレッシュ

ユなどの都合で一時的にお預かりする場合は、その時点で児童の人数に伴って保育士が確保できるかどうかを判断し、お断りすることもある。

#### ○保育ルームbee-chan 阿形代表

保育ルームbee-chanは、認可外保育施設の5人以下として登録させていただいている施設。県の監査を受けており、認可保育園にも劣らない施設であると思っている。認可外や無認可と聞くと認可に劣るようなイメージがあるのではないかと思うが、そのようなことはないということを最初に伝えたい。

施設の安心・安全の充実を図るとともに、チャイルドマインダー総合保険にも入っており、また、保育士資格に加えチャイルドマインダーという資格も取り、学校での研修にも参加している。なお、私自身公立の保育園で13年の勤務経験もある。消防署が行う人命救急法と同等のMFAによる8時間研修に参加し、国際カードを取得している。

保育施設では、少人数の家庭的保育で、ゆったりとした環境の中、一人一人を受けとめて、成長、発達を促していけるような保育を行っている。利用の理由は、母親の社会復帰のためのスキルアップや就活のための預かり保育や子育て中の母親のリフレッシュのためなど。また、病児保育も可能な限り受けている。夜間保育、休日保育に加え、県外からのイベント参加者への対応、特定の日・時間帯だけの預かり保育、預かり保育を行っていない幼稚園の子供の迎えとその後の居場所提供も行っており、様々なニーズに対応して居場所の提供をしており、認可外保育施設はなくてはならないものではないかと思う。集団についていけない子供には、1対1など少人数での対応が可能であり、需要があると思っている。

保育ルームbee-chanに登録をしている保育士は、私を含めて4人いる。その4人全員が来るわけではなく、その日に来る子供の人数に応じて、都合のいい保育士にお願いして体制を組んでいる。認可保育園よりも手厚いチャイルドマインダーの基準でスタッフを配置している。0歳児は3対1のところ、うちのルームでは2対1で、1～5歳においても子供3人に対して1人保育士を付けている。

なお、私が公立保育園をやめた一つの理由としては、保育所の処遇の悪さが原因。自らが子育てしながら働ける環境ではなかったこと、個々の配慮を必要とする保育現場の中で、保育士の最低配置基準では十分な保育ができないこと、認可保育園は限界を超えていて保育の質が低くなっているのではないかと感じたことを一個人の意見としてお伝えしたい。

利用料は、資料4の規約に記載のとおり。利用者としては、一時預かりや週に1日あるいは2日の定期預かりコースの利用が多いが、毎日定期利用したいという需要もある。市役所に保育園入園の申請をしたものの、空きがなく待機児童になった時に、この施設があることを市から紹介されたということで、保護者から毎日利用の問い合わせがあったこともある。また、私は、保育士として、市内の他の認可外保育施設のお手伝いに呼ばれることがあるが、そこでは毎日利用する子供もいた。

(保育体制、保育士の方などの受入体制はどのように調整しているか。)

- ・私の保育ルームでは、私を含めて保育士が4人、補助者が2人いるが、雇用関係があるわけではないため、子供の保育の希望があっても、その日に保育士が来られるかどうかは聞いてみてからとなる。津市内にいくつかの連携している保育ルームがあり、そこのスタッフにも声をかけることができる。困って保育を求めて来られる方がほとんどなので、保育ルーム同士でお互いに助け合いながら、できるだけ希望に応えられるようにしている。

(他に何か意見があれば。)

- ・保育を受ける子供に差があるわけではないのに、認可施設のみが無償化の対象とされると、補助のない認可外施設を経済的負担をしながら利用する家庭と、無償化の対象になる認可の施設を利用する家庭との格差がさらに増し、何のための無償化措置かわからないのではないか。
- ・女性活躍の時代、全ての子供を持つ家庭に平等に漏れなく配布できるチケットなどの仕組みはどうか。例えば、杉並区の子育て応援券や、調布市のベビーシッター券などのようなものをぜひ制度化してほしい。
- ・認可外保育施設には、認可施設ではこたえられない利用者のニーズに対応しているため、もっと利用しやすくなる仕組みを充実させてほしい。
- ・監査基準を満たした施設と、そうでない施設との区別は必要だと思う。また、「認可外」「無認可」というと、認可と比べて安心・安全面に欠ける、グレードが低いなどのイメージがある。「外」「無」という表記をつかわず、「私設」「私営」などにしてほしい。
- ・無償化に財源を使うのではなく、先に保育士の処遇改善や、安心して預けられる施設を確保することに貴重な財源をいかしてほしい。

(6) 関係者からのヒアリング (地方自治体)

○三重県 高濱課長

資料5の1ページは三重県の年齢別の人口等の推移と結婚等に対する住民意識のデータを整理したもの。県全体の人口の推移をみると、人口減少が三重県でも起こっている。合計特殊出生率の推移をみると、ここ2年ほどは1.5台で、若干回復傾向にあるが、まだまだ希望出生率である1.8には遠く及ばない。その要因を調査するため、昨年度、内閣府の少子化対策の交付金を活用し、3万人の県民を対象に意識調査を行った。その結果、結婚経験ありの人の理想の子供の数は2.37人。現実の人数は1.49人で、その差が0.88人。また、未婚者の結婚に不安を感じる経済的理由で最も高いのは、子供が生まれた後の生活費と、その後の子供の教育費が不安要因としてある。

この調査以外にも、幸福実感を図るための県民意識調査をやっており、子育ての不安について聞いたところ、経済的にやっていけるかという不安が最も大きく61.8%であった。子育てに関する支出に不安を感じているということが大きく、こういった部分が理想の子供の数を持たない要因の一つではないかと考えている。

2 ページ。県全体の保育所の認可定員は、平成27年の新制度以降も着実に施設整備を進めているため、500人以上増えている。待機児童は、4月1日現在、ここ3年間100人前後で横ばいの状態である。待機児童が出た市町は、去年は29のうち6つということで偏っている部分もある。

3 ページ。0～2歳の保育ニーズが非常に高まっている。3～5歳児の部分は1年前に比べて153名減っているが、0～2歳児は560名増えている。年齢別待機児童数を見ると、98%が0～2歳児。0～2歳児は、対応する保育士の数も多く必要になるため、増加する申込みに対して保育士の数が追いついていないことが要因。

4 ページ。三重県の待機児童対策は、施設整備と保育士の人材確保の両面から対策をとっている。施設整備については、着実に施設の数が増えている。一方で、保育人材確保の部分だが、若年層に対しての修学資金貸し付けや、経営者に対するマネジメント研修などを行っている。特に今年、本県で力を入れているのが潜在保育士対策である。意識調査を行い、就労可能となる条件を探り、就労意欲のある方のマッチングにつなげていきたい。

5 ページ。3～5歳児については、ほぼ100%の方が幼稚園や保育園などを利用している。

6 ページ。認可外保育施設と幼稚園における預かり保育の状況。県内には認可外保育施設が全部で59施設あり、ニーズの多い中南勢地域に多く所在している。利用者は3歳になると認可外から認可保育所に移っていく傾向にある。一方で、認可保育所では対応し切れない夜間や長期休み中などの場合に、補完的に認可外を利用するという方が多いと考えている。

幼稚園の預かり保育の状況は、公立幼稚園は147園中43園、私立幼稚園は60園中59園とほとんどのところで実施している。預かり保育へのニーズが非常に高い状況があるため対応が必要。

8 ページ。幼児教育・保育の無償化について。県では、結婚や出産の希望がかない、安心して子育てできる社会を目指す中で、子供に係る教育費の不安を軽減する取組の必要性はあると考えている。

そのような中、認可外保育施設は、待機児童の受け皿だけではなく、認可保育所等では実施が困難な夜間や休日の保育ニーズに対応しているという実態があり、その役割は非常に大きいものがある。一方で、指導監督基準を満たさない施設もあり、無償化をすることになれば、その対象範囲については、例えば、子供の安全に関する基準が確保されていることを求めるなど、一定の条件を付することが必要ではないかと考えている。

一方、幼稚園も個性豊かな幼児教育を推進しており、その教育・保育理念に共感して子供を通園させたいという方がかなり多い。同時に、保育所に入所できなかったため幼稚園

に入園し、預かり保育を利用しているという方も一定数いるため、無償化の対象とするのがよいと考えているが、その対象の範囲については、保育の必要性などの観点から、十分な検討が必要ではないかと考えている。

国への要望として、県の財政状況は非常に厳しい状況にあり、無償化になると財源が必要になるため、国の責任においてきちっと財源を確保し、実質的な地方の負担が出ないようにお願いしたい。加えて、無償化により教育・保育ニーズが増加することが想定されるため、受け皿整備についても地方の状況に応じて推進できるよう支援をお願いしたい。

最後に、量の確保だけではなく、質の向上が置き去りになってはいけない。質の向上についても、更なる取組をお願いする。

#### ○津市 福森理事

資料6の1ページについて、津市の就学前児童の人口は全国と同様に年々下がっている。幼稚園が38施設、保育園が45施設、幼保連携型認定こども園が15施設、小規模保育事業が2施設、事業所内保育が1カ所、全部で101カ所。定員は1号認定が3,407人、2号認定と3号認定を合わせて6,377人。認定を要しない私学助成幼稚園が1,125人。

2ページ。保育園の利用者数は年々増加しているが、幼稚園の利用者は減少している。保育園は、待機児童が生じないように定員数を増やしている。

3ページ。定員確保の方法について、平成18年から26年の間は、民間を中心とした保育定員の増ということで、施設の整備や余剰スペースを活用して定員を増やした。第2ステージは、平成27年の子ども・子育て支援新制度がスタートしてから。認定こども園への移行があり、その分で定員の確保をした。第3ステージは、今年の4月1日から認定こども園を3園開園させ、今後も2園開園する予定であり定員の確保を行っている。

幼稚園の預かり保育は、平成29年現在、津市立の幼稚園35園中10園で実施している。平日の保育終了時間の2時から4時まで、長期休業中は9時から4時までで、1回100円。

私立幼稚園では、9園全てで預かり保育を実施している。実施時間は、それぞれ7時半か8時頃に開始し、遅いところでは18時半ぐらいまで行っている。

5ページは、保育の必要性の認定について。基本的に子ども・子育て支援法施行規則に基づき、津市で規則を定めている。支給認定の新規や変更申請は月480件ほどあり、新規認定の多い4月においては1,500件を超える。

6ページ。利用調整について、地域の事情に基づいて対応している。まず保護者の就労状況、世帯の状況を考慮し、7ページの基本点数を基に合計得点を出して調整順位を決定している。

利用負担額について、国の5段階に対し、市では8段階の細分化を図っている。国の示す基準額に対し、1号は66.2%、2号、3号は65.9%の金額を設定している。

幼児教育の無償化に当たっての要望は、全国市長会における平成30年4月13日付けの新しい経済政策パッケージのうち、子ども・子育て関連事項に関する意見のとおり、幼児教

育・保育の無償化については、全て国の責任において実施することを明らかにした上で、無償化の対象範囲や財源、事務負担に対し、実務を担う都市自治体の意見を十分に踏まえて進められたい。特に、無償化の具体化に当たっては消費税・地方消費税引き上げにより確保される地方財源を踏まえる必要があることから、地方自治体と十分に協議を行われたい。

○志摩市 澤田課長

資料7の2ページについて、志摩市の人口は減っている。3ページ。児童数は年々減少しており、近年では1学年当たり300人を切る状況。

4ページ。志摩市の場合、平成30年度4月入所については、入所を希望する子供は利用調整の結果、全員の施設利用が可能となっている。

5ページ。近年の動向として、人口の減少を受けて志摩市の保育所・幼稚園のあり方、再編が検討・実施された。7ページ。公立幼稚園での預かり保育の利用状況は、4歳児で68.9%、5歳児で70.0%、合計で65.1%。こちらは保育所・幼稚園の再編により、保育ニーズのある子供が幼稚園を多く利用するという実態があり、高い利用率となっている。

10ページは、志摩市内にある認可外保育施設の状況。4カ所となっている。11ページは、保護者が認可外保育施設を利用する理由をそれぞれの施設に尋ねたところ、5つの回答があったので、理由を記載している。

最後に要望を2点。認可外保育施設について、無償化は利用者にとっては良いことだと考えているが、対象者の児童の把握が困難なことや、地方自治体としての事務的な負担のこと、施設によって運営方法が多様であるため助成金の算定が困難なところもあるかと思っている。実施に当たっては、市として準備期間を必要とする状況がある。条例の整備、施設とのやりとり、家庭への周知などが必要となるため時間が必要である。

また、志摩市の場合、4歳や5歳の子供を預けられる施設は、住んでいる地区によって、ここは保育所がある、ここは幼稚園があるという形になっており、自由な選択が困難である。そのため、地区によっては、保育ニーズを幼稚園の預かり保育で対応している。幼稚園の預かり保育が無償化にならない場合、家の近くに保育所があるのか、幼稚園があるのかで保護者の負担が変わってきてしまう。幼稚園の預かり保育についても無償化の対象とし、市の財政負担があまりないようお願いする。

(認可外保育施設も小規模保育や家庭的保育などとして認可され、子ども・子育て支援新制度に入って行政から補助が出るようになるのが良いと思うがどう考えるか。幼稚園や保育園の認定こども園への移行について、どのように考えるか。幼稚園の預かり保育も、預かる時間や長期休業中の給食など、保護者からの不満もあると思うが、どう考えるか。)



#### ○津市 福森理事

- ・認可外施設については、監査は三重県と一緒に津市も行っている。一方、利用調整については、私立の保育所と異なり、市では行っていない状況である。今回、認可外の無償化について検討が行われており、利用者にとっては、利用する保育施設の視野が広がると思う。一方で、地方の市でもあり、保護者の認識を考えると、認可外の利用を躊躇されるという面もある。認可外の無償化は、公平性の観点ではいいと思うが、保育の内容をどう理解してもらおうかということはある。
- ・預かり保育について、旧津市の時代から、公立の幼稚園のサービスをあまり向上させると、民間の私立幼稚園の経営の圧迫につながるということがあるため、今まで相談をしながら時間帯などを決めており、これからも私立と相談していくことになる。
- ・認定こども園化については、今年4月1日に3園開園した。5年間の子ども・子育て支援事業計画で、5園つくることにしており、あと2園つくる。今後は待機児童対策以外にも地域の幼稚園の園児の減少課題がある中、ただ園を廃園していくだけではいけないと思っている。地域の幼児教育を行っていくためにも、幼稚園を再生する形で認定こども園という手法も考えていかなければいけないと思っている。今年度と来年度で計画を策定していくが、こども園の設置の視野も増えてくるかと思っている。

#### ○志摩市 坂井係長

- ・志摩市は、待機児童がいない地方の市で、認可外保育施設も4施設あるが、事業所内保育施設という形のところが多い。また、利用者の数もそれほど多くはないという状況である。小規模や家庭的保育について、市の条例は整備されているため、今後、認可外保育施設の方から要望があれば対応できる形になっている。
- ・認定こども園化については、志摩市は地方の市ということで財政事情、また、再編計画の中で幼稚園と保育所が統廃合を進めて、まとまりのある1つの地域ごとに、幼稚園が1つであったり、保育所が1つであったりという体制である。市の財政事情の中でそういった施策を進めてきている。今後、新しい制度に沿った形での認定こども園化というところを先に据えながら検討を進めていく必要があると考えている。
- ・幼稚園の預かりについては、志摩市の特殊な事情の中で、地域の子育て施設が幼稚園しか選べないという地域もあるという事情の中で、昨年度、市民や議員からも声をいただき、長時間の預かりや給食の提供など、今後の子育てサービスの充実ということで、次年度以降、検討を考えているところである。

(認可、認可外の各施設の収支決算や収支の具体的内容について、自治体において把握や公表を行っているか。)

#### ○三重県

- ・ 保育所等の収支決算の公表は、各施設で独自に行っていれば別だが、県や市では公表していない。
- ・ 幼稚園、学校法人立の認定こども園、保育所などの収支報告の書類は県にあるが、給付費の認定などに必要な内容の確認しかしておらず、例えば、人件費の割合などのデータが必要ということになれば、1園ずつ、書類を見直す必要がある。
- ・ 認可外保育施設については、収支関係の書類の提出を受けていない。